

グローバル・ヘルスケア・カンパニーを目指して

2021年10月5日、6日

旭化成株式会社 ヘルスケア領域

取締役 兼 専務執行役員 坂本 修一
専務執行役員 Richard A. Packer

目次

- ▶▶▶ 1. ヘルスケア領域の紹介
- 2. これまでの事業進捗
- 3. これからの成長
- 4. 事業戦略
- 5. まとめ

予想・見通しに関する注意事項


当資料に記載されている予想・見通しは、種々の前提に基づくものであり、将来の計数数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

ZOLL Medical CorporationによるItamar Medical Ltd. (Itamar社) 買収は、Itamar社の株主による承認、規制当局による承認、その他の通常取引完了条件を前提としています。
なお、一般的な規制当局や株主の承認期間を想定した場合、本買収は2021年末までに完了すると見込んでいます。

ヘルスケア領域概要

AsahiKASEI

グループ理念: 世界の人びとの“いのち”と“暮らし”に貢献します。

 ヘルスケア領域



- 「クリティカルケア」
ZOLL Medical
- 「医薬」
旭化成ファーマ
Veloxis Pharmaceuticals
- 「医療」
旭化成メディカル

 マテリアル領域



- 基礎化学品
- 繊維
- 高機能化学品
- 電子材料、電子部品

 住宅領域



- 住宅
- 建築材料

ZOLL Medical

- CEO：ジョナサン A. レナート
- 本社拠点：米国、マサチューセッツ州 ボストン近郊
- 2012年度 旭化成へ参画
- 2020年度 売上：23.9億ドル
- 事業内容：



医療機器、ソフトウェア

- 除細動器（着用型含む）、心臓モニタリング
- 心肺蘇生システム
- 過飽和酸素療法
- データ管理
- 人工呼吸器
- 睡眠時無呼吸症治療
- 体温管理療法



除細動器、モニター



自動体外式除細動器



着用型自動除細動器



心肺蘇生システム



過飽和酸素療法
(急性心筋梗塞治療)



データ管理



人工呼吸器



睡眠時無呼吸症治療



体温管理療法

旭化成ファーマ

- 代表取締役社長：青木 喜和
- 本社拠点：日本、東京
- 2020年度 売上：664億円
- 事業内容：

医薬事業

- テリボン、リクラスト（骨粗しょう症）
- ケブザラ（関節リウマチ）
- リコモジュリン（播種性血管内凝固症候群）
- 長期収載品

診断薬事業

- 酵素製品
- 糖尿病関連診断薬



テリボン



リクラスト



ケブザラ



リコモジュリン



フリバス
(長期収載品)



診断薬

Veloxis Pharmaceuticals

- CEO : クレッグ A. コラード
- 本社拠点 : 米国、ノースカロライナ州 ローリー近郊
- 2019年度 旭化成へ参画
- 2020年度 売上 : 1.39億ドル
- 事業内容 :

医薬事業

- Envarsus XR :
 - 腎移植患者を対象とした免疫抑制剤
 - 独自技術により有効成分濃度を長時間保つ*

*投与頻度の軽減（1日1回）に加えて副作用の軽減も期待される



Once-daily
Envarsus XRTM
(tacrolimus extended-release tablets)



旭化成メディカル

- 代表取締役社長：住吉 修吾
- 本社拠点：日本、東京
- 2020年度 売上：733億円
- 事業内容：



血液浄化事業

- 透析
- アフェレシス



ダイライザー



アフェレシス治療

バイオプロセス事業

- ウイルス除去フィルター
- バイオプロセス装置
- バイオセーフティ試験受託サービス (CRO)



ウイルス除去フィルター



装置



CRO

輸血関連事業

- 白血球除去フィルター



白血球除去フィルター

目次

1. ヘルスケア領域の紹介

▶▶▶ **2. これまでの事業進捗**

3. これからの成長

4. 事業戦略

5. まとめ

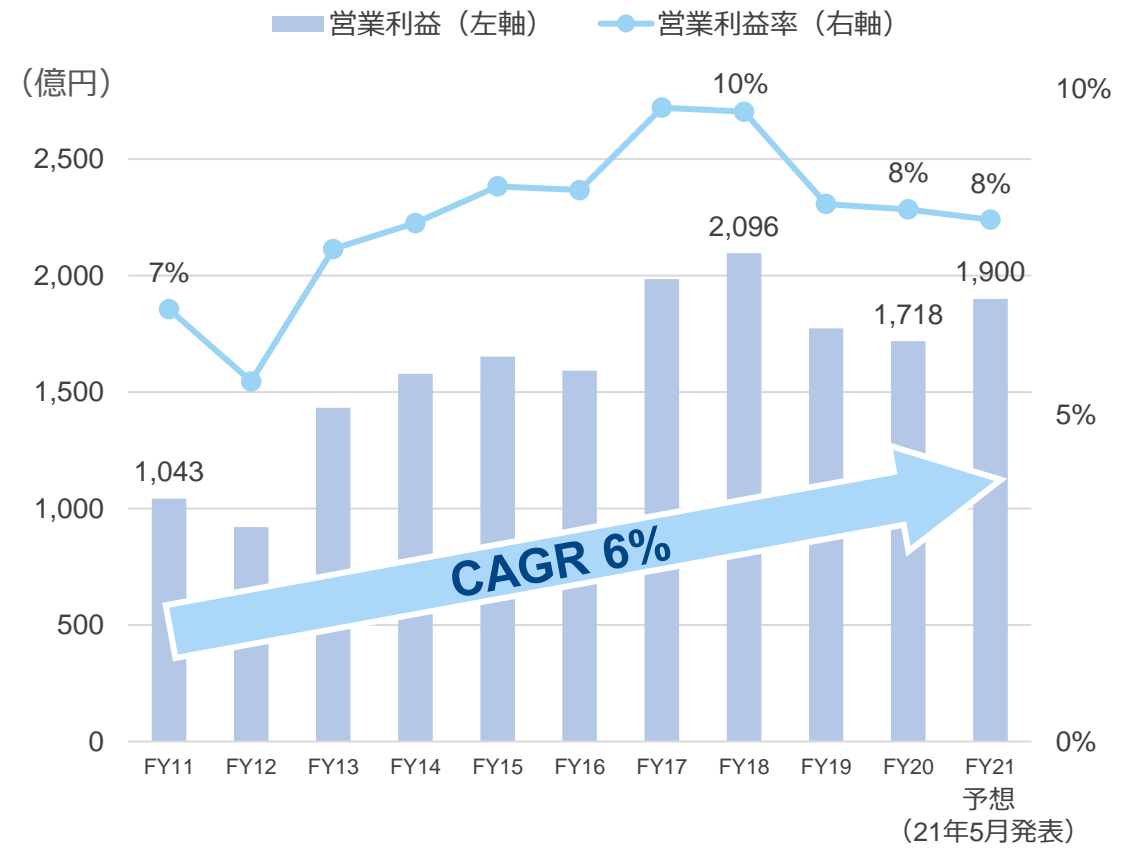
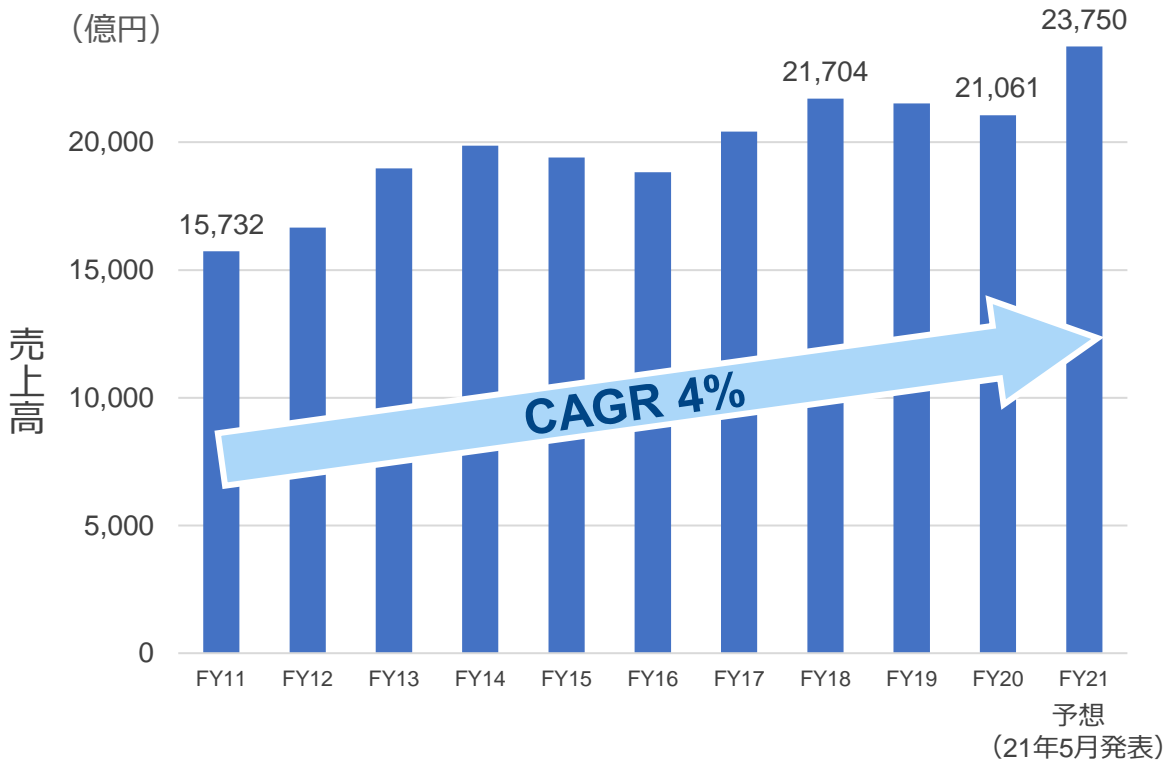
旭化成 業績推移

売上

▶ マテリアル、住宅、ヘルスケアの3領域での持続的成長

営業利益

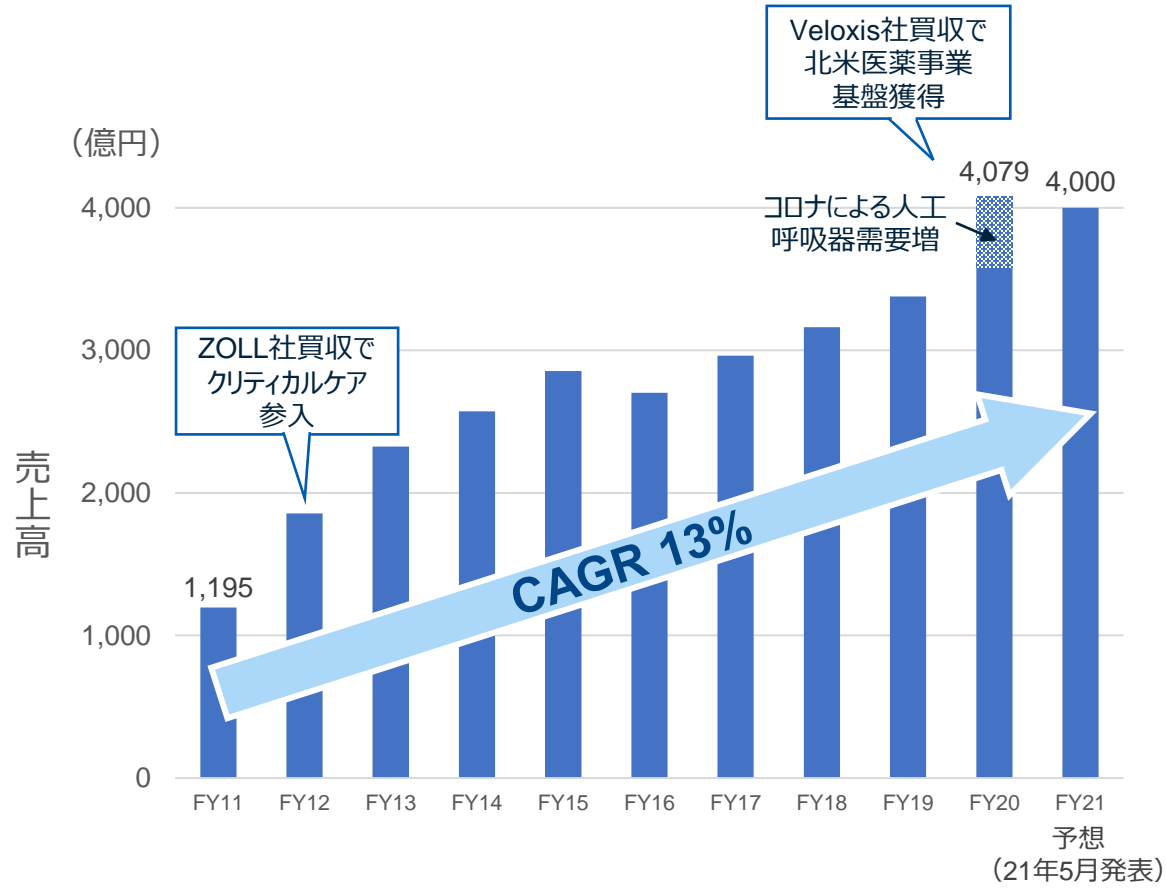
▶ 多様な事業ポートフォリオによる利益成長と安定的収益性確保



ヘルスケア領域 業績推移

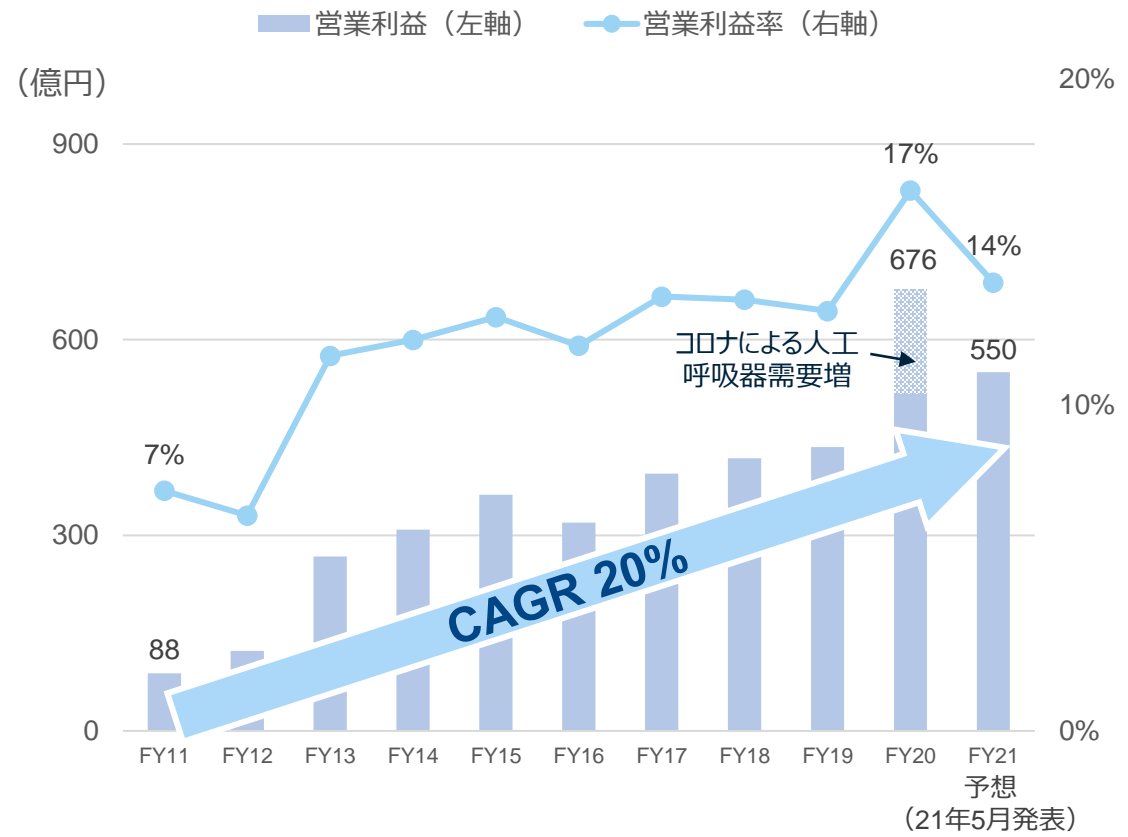
売上

- ▶ クリティカルケアが成長を牽引
- ▶ 医薬、バイオプロセスの成長が加速



営業利益



- ▶ 10年で営業利益は6倍以上に成長
- ▶ 成長継続と収益性向上を両立



ZOLL社、Veloxis社等買収に伴うのれん償却および無形固定資産償却後の営業利益

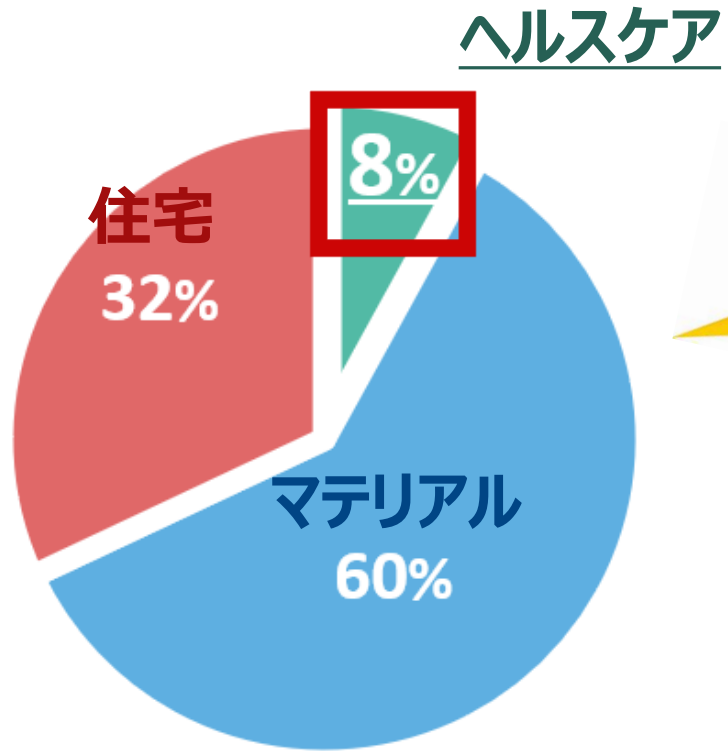
ヘルスケア領域における主要なM&Aおよび導入案件

- ▶ ZOLLのM&Aを活用した成長手法をヘルスケア領域各社へ適用、医薬のライセンス活動ともあわせて将来の成長へ向けた活動を加速

実行主体	年度	企業/製品	事業/疾患領域
AsahiKASEI	2012	ZOLL Medical	クリティカルケア
	2019	Veloxis Pharmaceuticals	医薬
 an Asahi Kasei company	2012	En-Pro Management	Resuscitation
	2014	InnerCool Temperature Management	Circulation
		Impact Instrumentation	Resuscitation
		Advanced Circulatory Systems	Resuscitation
	2015	Kyma Medical Technologies	Cardiac Management
	2018	Payor Logic	Data Management
		Golden Hour Data Systems	Data Management
	2019	TherOx	Circulation
		Mobilize RSS	Resuscitation
		Cardiac Science	Resuscitation
2021	Respicardia	新ディビジョン	
	Itamar Medical	新ディビジョン	
AsahiKASEI ASAHI KASEI PHARMA	2016	イサブコナゾール	感染
	2017	ケブザラ	免疫
	2021	プラケニル	免疫
 PHARMACEUTICALS	2021	VEL-101 (旧FR104)	免疫/移植
AsahiKASEI ASAHI KASEI MEDICAL	2019	Virusure Forschung und Entwicklung	バイオプロセス

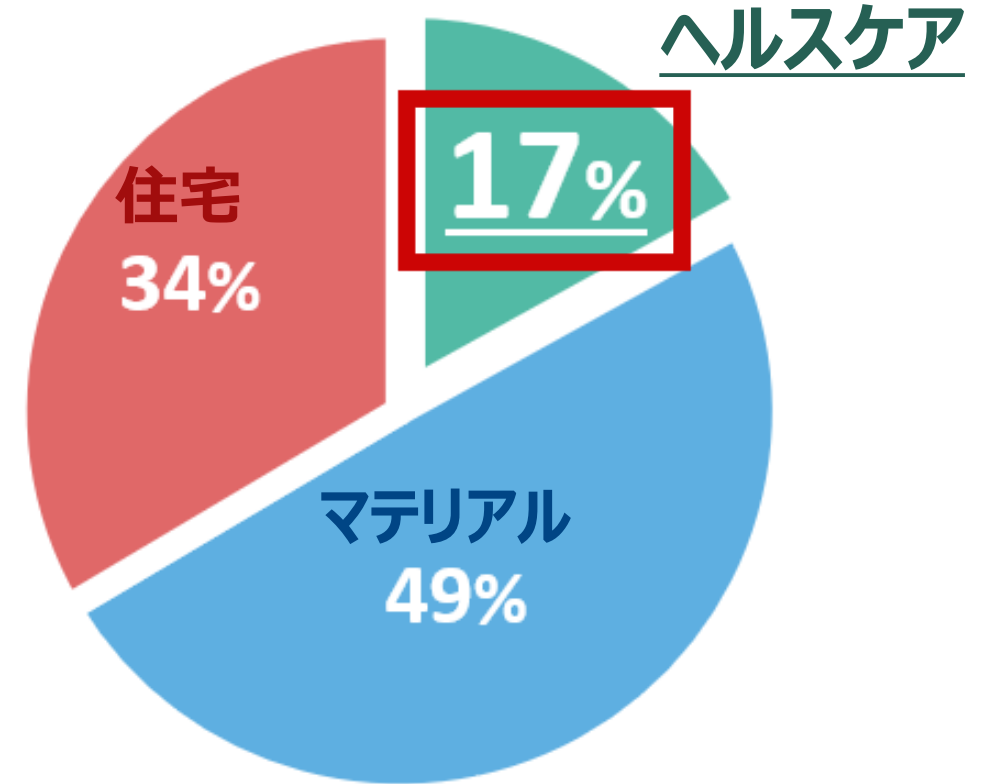
旭化成への貢献：売上

2011年度



計: 15,546億円*

2021年度 (2021年5月発表予想)

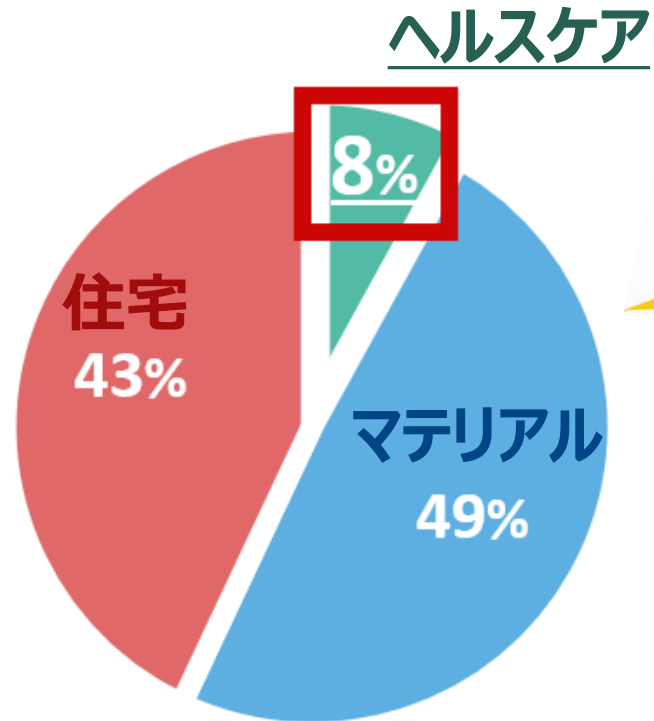


計: 23,590億円*

*3領域以外のその他事業の売上、セグメント間取引消去は除く

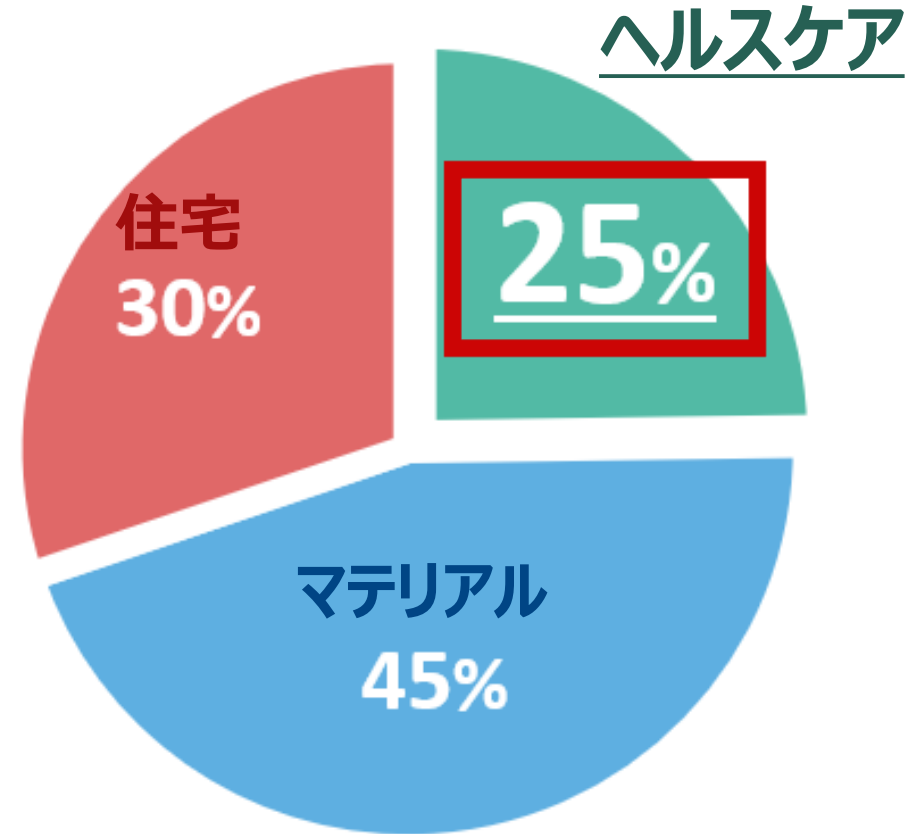
旭化成への貢献：営業利益

2011年度



計:1,109億円*

2021年度 (2021年5月発表予想)



計:2,220億円*

*3領域以外のその他事業の営業利益、セグメント間取引消去、全社費用等は除く

目次

1. ヘルスケア領域の紹介
2. これまでの事業進捗
- 》》 3. これからの成長**
4. 事業戦略
5. まとめ

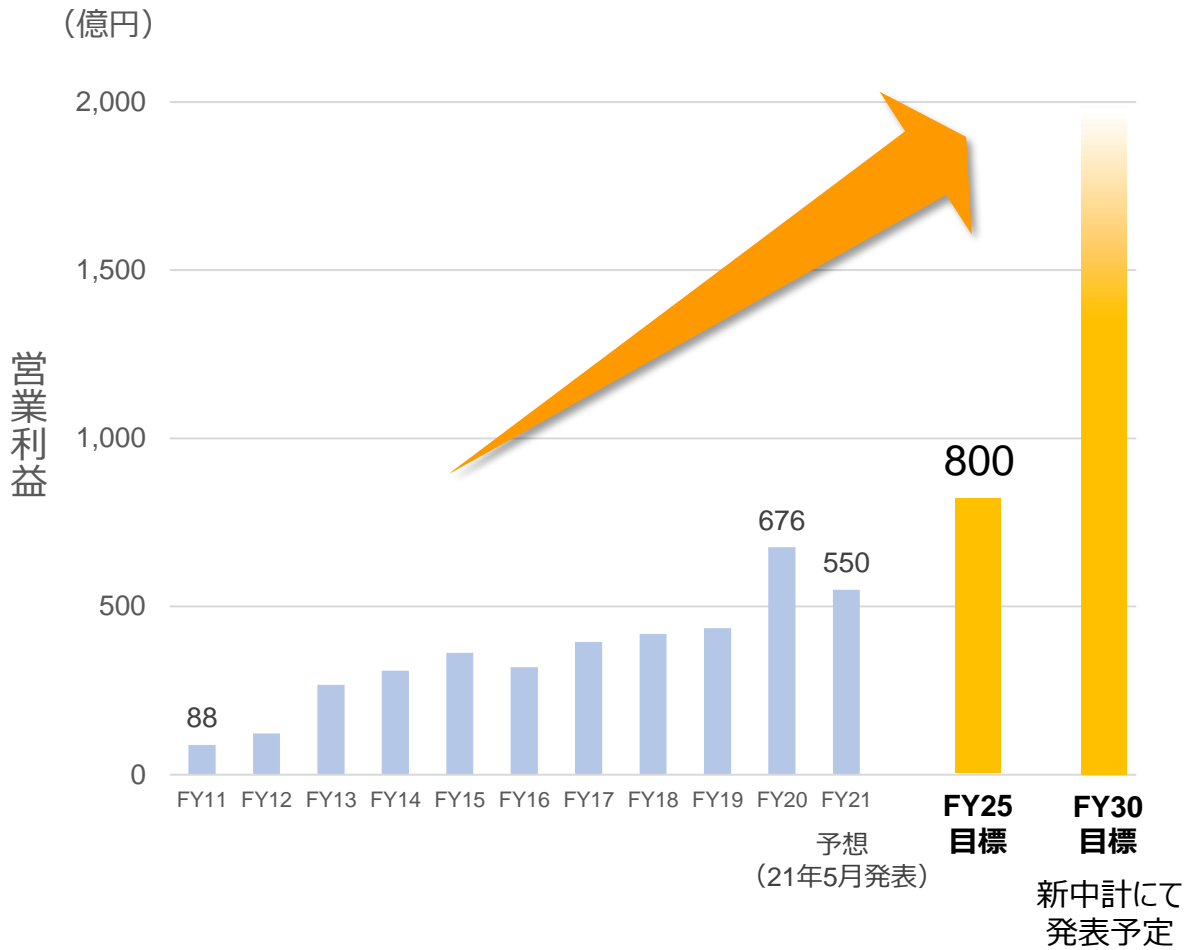
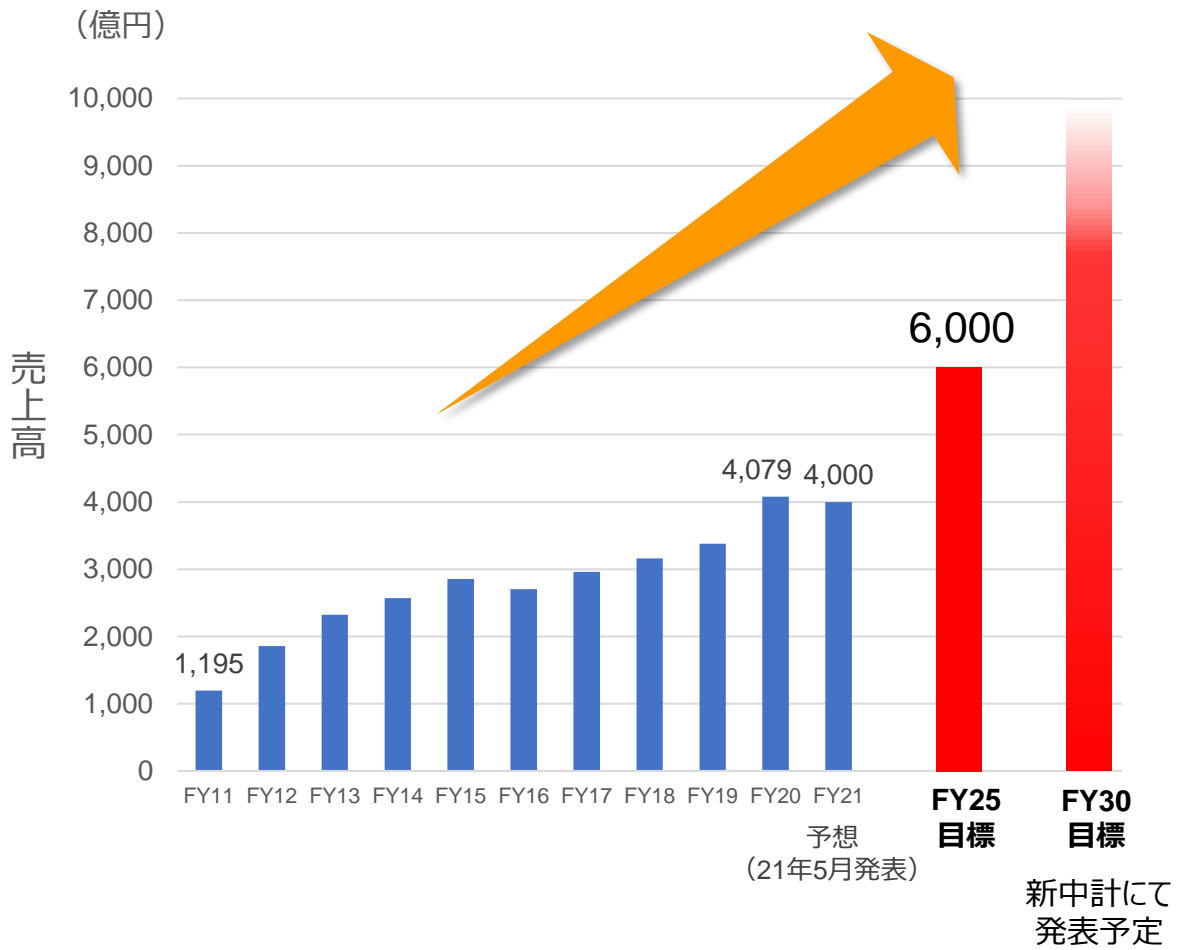
2025年度に向けたヘルスケア領域の基本方針

旭化成の成長を牽引する、隆々たる第3の柱となる

- ✓ グローバル・ヘルスケア・カンパニーへの進化を加速する。
- ✓ 医薬と医療機器の両事業を運営する。
- ✓ 計数目標として、2025年度に売上高6,000億円、営業利益800億円を目指す。
- ✓ オーガニックな成長に加えて、M&Aを活用し成長する。

積極的な事業拡大目標

▶ 営業利益率目標 20%

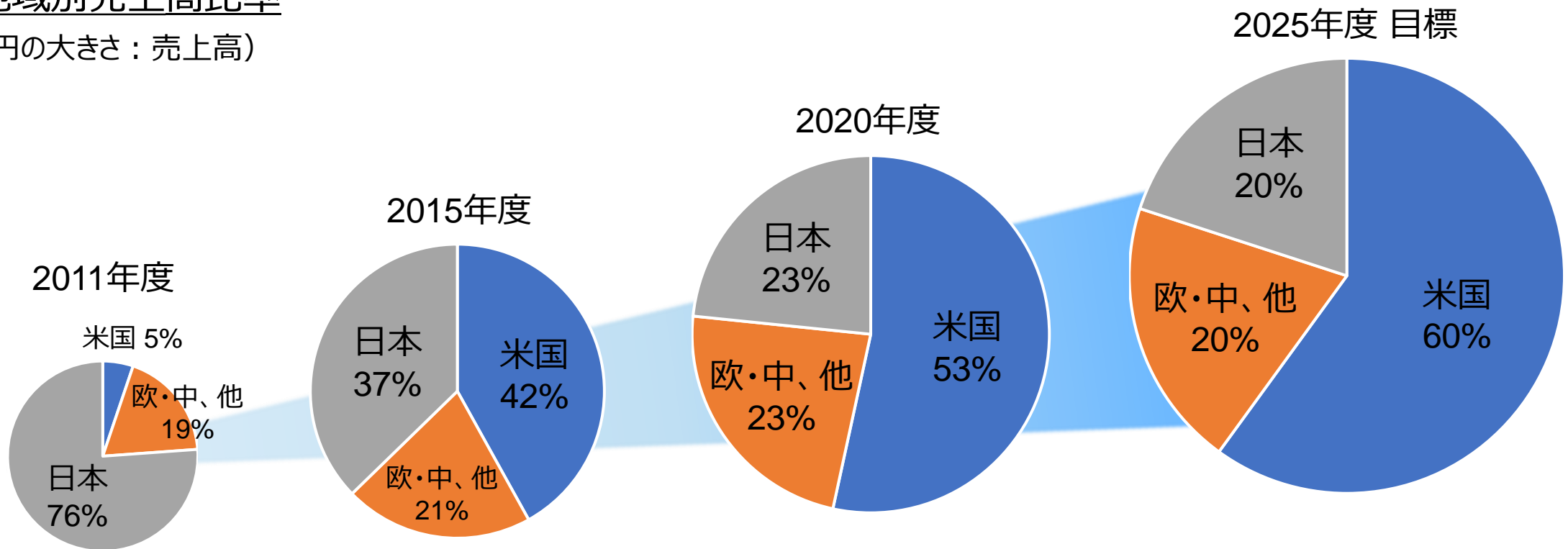


地域戦略

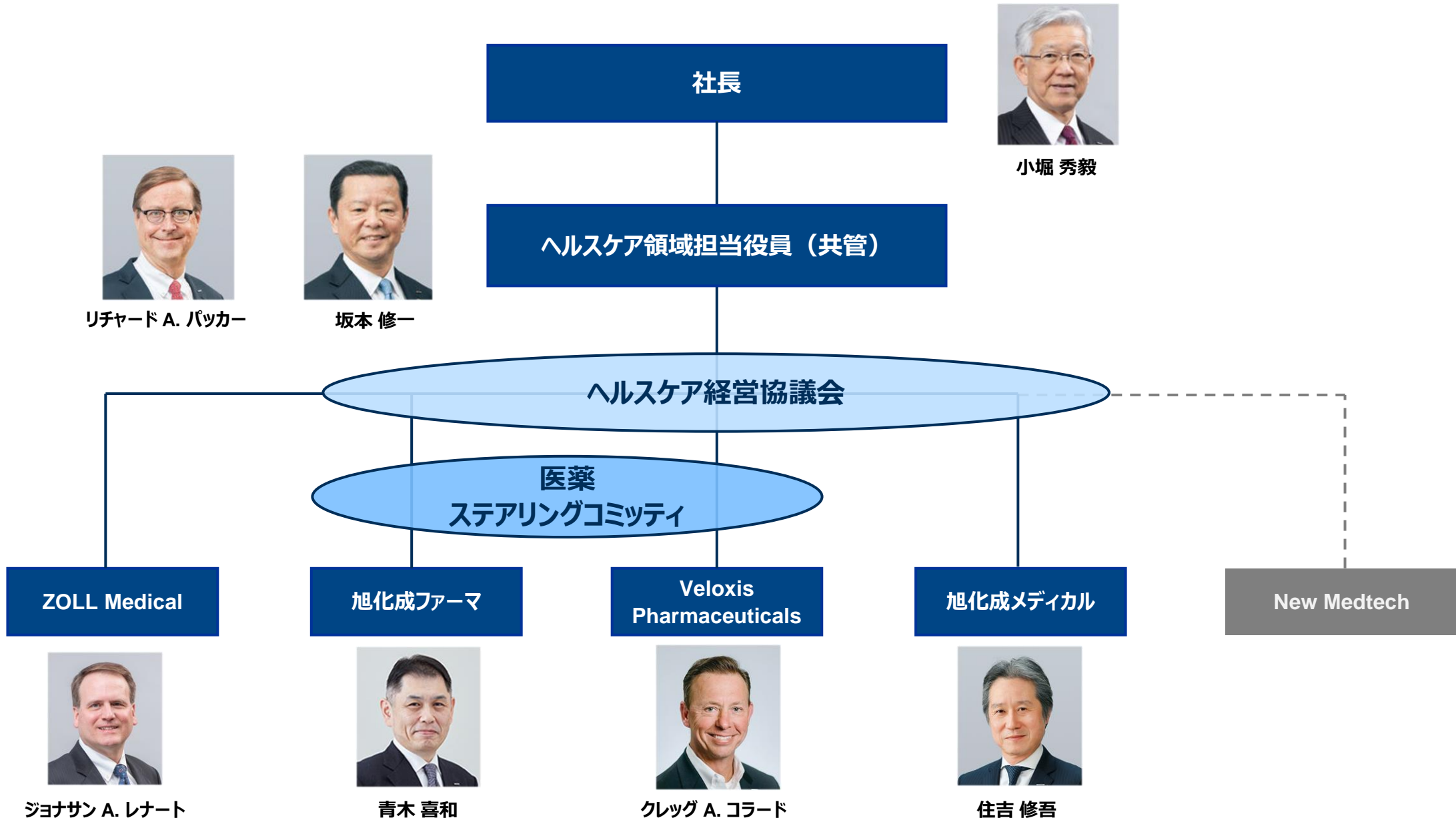
- ▶ 米国 : ヘルスケアの最大かつ高成長市場として、成長機会を追求する
- ▶ 日本 : 安定的・持続的な収益基盤としてより強固なものにする
- ▶ 欧州・中国 : 更なる拡大のための事業基盤を確立する

地域別売上高比率

(円の大きさ：売上高)



ヘルスケア領域ガバナンス体制



目次

1. ヘルスケア領域の紹介
2. これまでの事業進捗
3. これからの成長
- ▶▶▶ 4. 事業戦略**
5. まとめ

ZOLL 事業戦略

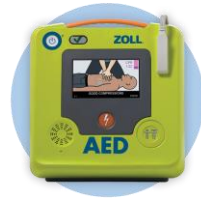
▶ 重篤な心肺関連疾患に注力

▶ 成長の原動力:

- ▶ 心肺関連の救命救急医療におけるbest-in-classの技術ポートフォリオ
- ▶ 周辺市場への拡大



患者保護 & 管理



除細動 &
心臓モニタリング



急性期救命救急



データ管理



人工呼吸



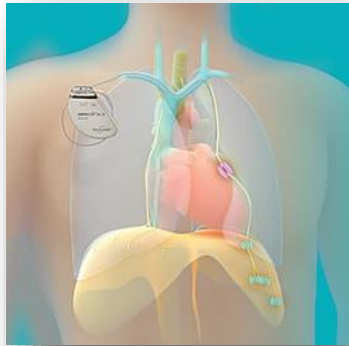
睡眠時無呼吸症

重篤な心肺関連疾患に苦しみ、 十分な治療を受けられていない患者により効果的な治療を提供

心血管疾患と睡眠時無呼吸症との間には、相互関係があることが研究結果で示されている

心血管疾患患者の約60%が何らかの睡眠時無呼吸症を患っている

これらの患者の大部分は確定診断を受けていない¹



ZOLL Respicardia
2021年4月に買収

中等度および重度の中枢性睡眠時無呼吸症を治療するための革新的な植え込み型神経刺激デバイスを提供







Itamar Medical
買収の最終合意書締結について2021年9月に発表

心臓病患者への治療に睡眠時無呼吸症診断を組み込むことにフォーカスした医療機器およびデジタルヘルスを提供

¹ <https://www.ahajournals.org/doi/10.1161/CIRCULATIONAHA.117.029400>

グローバルスペシャリティファーマへの進化

▶ グローバルスペシャリティファーマとして2025年1,500億円、2030年2,000億円の売上高達成を目指す




コア領域	製品
旭化成ファーマ	
整形外科*	 <ul style="list-style-type: none"> ・テリボン ・リクラスト
救急 / 病院	 <ul style="list-style-type: none"> ・リコモジュリン
免疫	 <ul style="list-style-type: none"> ・ケブザラ ・プラケニル ・ブレディニン
Veloxis Pharmaceuticals	
移植	 <ul style="list-style-type: none"> ・Envarsus XR ・VEL-101 (旧FR104)



グローバル医薬ターゲット


1. 免疫・移植の周辺疾患領域 / スペシャリティ

感染**
免疫・移植
腎疾患

** 侵襲性/重症感染症 (例：深在性真菌症)

2. 病院



* 整形外科は引き続き日本におけるコア疾患領域とする

医薬事業における連携強化

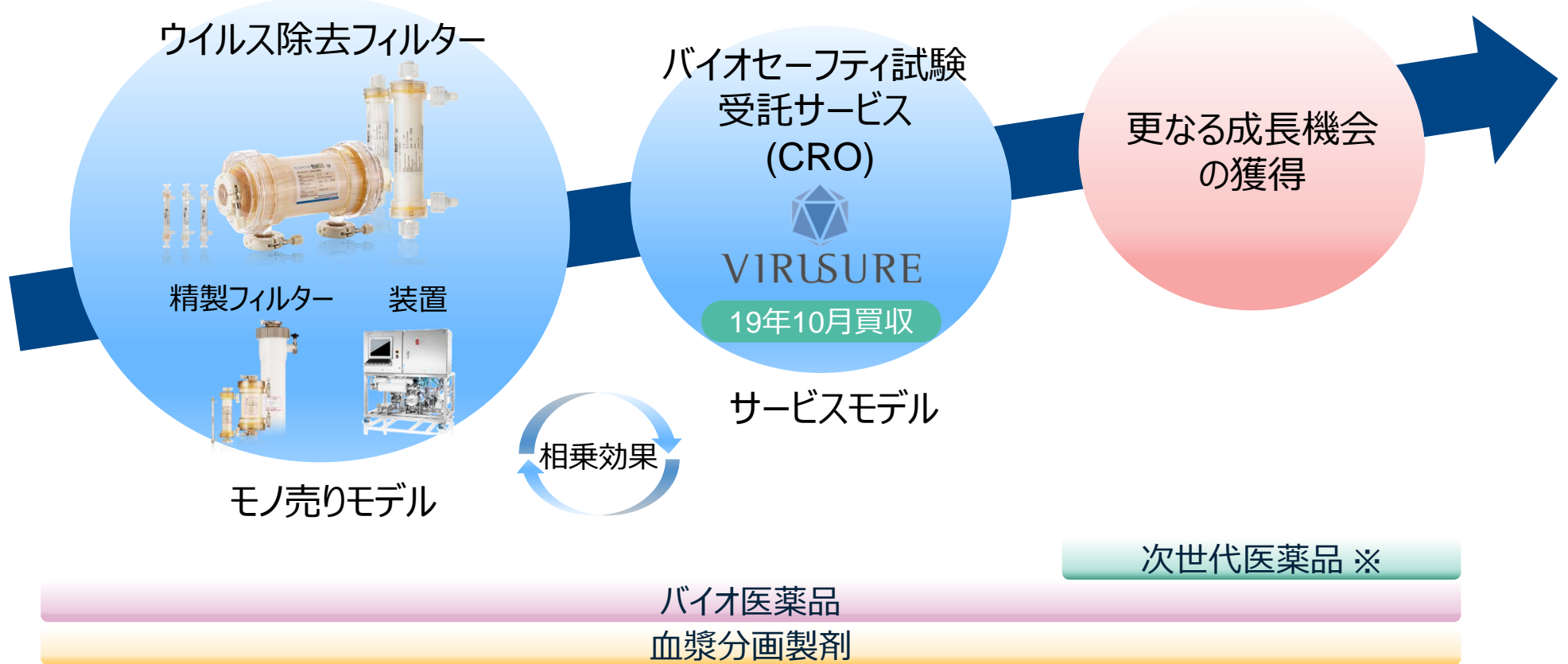
▶ 事業開発、臨床開発において両社の知見を結集

機能	日本 旭化成ファーマ	米国 Veloxis Pharmaceuticals	
事業開発	✓	✓	・ 米国における医療ニーズ把握と最先端のイノベーションへのアクセス
R&D	✓		・ 日本を拠点としたオープンイノベーション創薬の推進
臨床開発	✓ 日本	✓ グローバル	・ グローバル臨床開発拠点を米国へ統合し機能強化
販売 マーケティング	✓ アジア	✓ 米国・欧州	・ 日米の事業基盤を活用し、各担当地域で販売・マーケティング

バイオプロセス事業基盤の拡大

- ▶ 生物学的製剤の安全性と生産性の向上に貢献する領域での事業拡大を行う
- ▶ バイオプロセス向けフィルター・装置に加え、VirusSure社買収によりCRO事業へ参入

事業ポートフォリオ



※ 遺伝子治療、細胞治療、再生医療、次世代ワクチンなど

国内事業基盤の強化

医薬事業

整形外科、救急、免疫領域の
スペシャリティファーマとして成長を継続

- 既存製品をキードライバーとした売上・利益の最大化
- 導入による国内市場向けのパイプライン拡充
2021年度下期より、プラケニルの国内販売開始
- DXを活用した飛躍的な収益性・生産性の向上
 - 医療従事者向けの自社サイトと既存のプロモーション活動を連動させたオムニチャネル化
 - AIを活用した創薬における化合物デザイン
 - DXによるスマートファクトリーの構築による生産性向上

血液浄化事業

血液透析事業の市場ポジション維持、業界のリーディングカンパニーとしてアフェシス事業への成長投資

- ダイアライザーの主要サプライヤーとしての安定製品供給の継続
高い営業カバー率（国内透析施設80%以上）と信頼の製品供給体制
- 血液浄化装置（アフェシス領域）国内No.1シェアを生かした治療機会の創造
血液浄化装置（ACH-Σ, PL-μ）の継続開発による他社差別化
- 国内オンリーワン アフェシスデバイスの拡充と適用疾患の拡大
難病・慢性疾患の医療現場への貢献の継続

事業開発方針

M&A、少額投資、買収オプション付き貸付、ライセンス導入、など

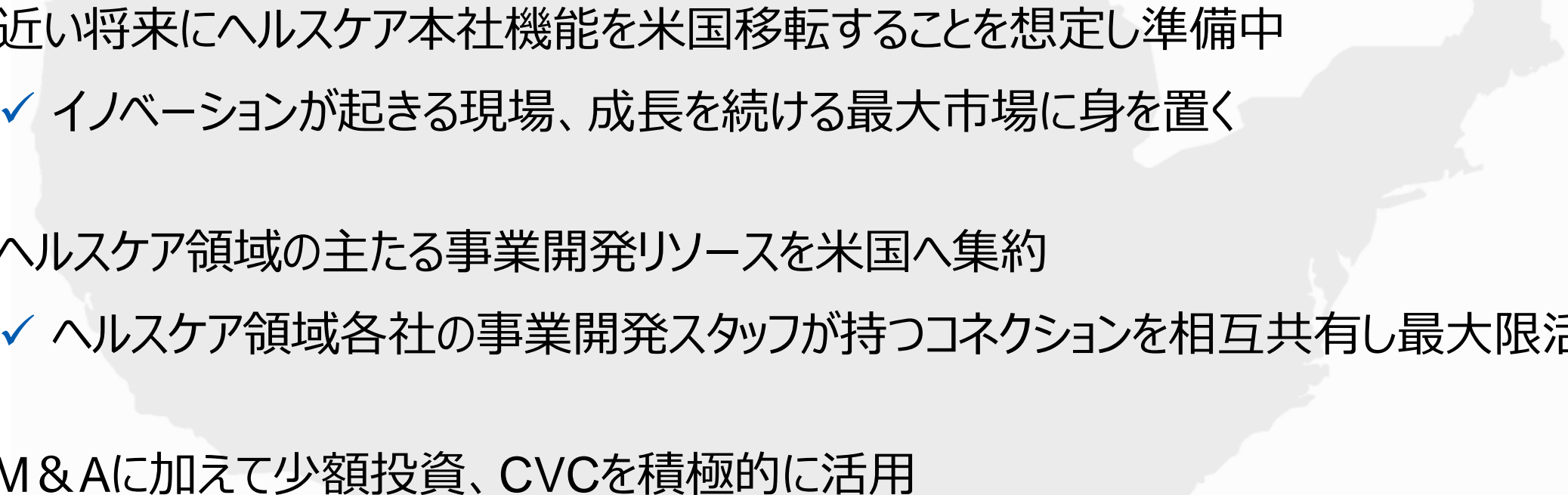


- ▶ 優れたリーダーシップを有する人財
- ▶ 旭化成と成長目標を共有

- ▶ 大きな潜在市場 (>\$1B)
- ▶ 明確なアンメットニーズの存在

- ▶ 差別化要素 (技術、事業モデル)

事業開発の加速

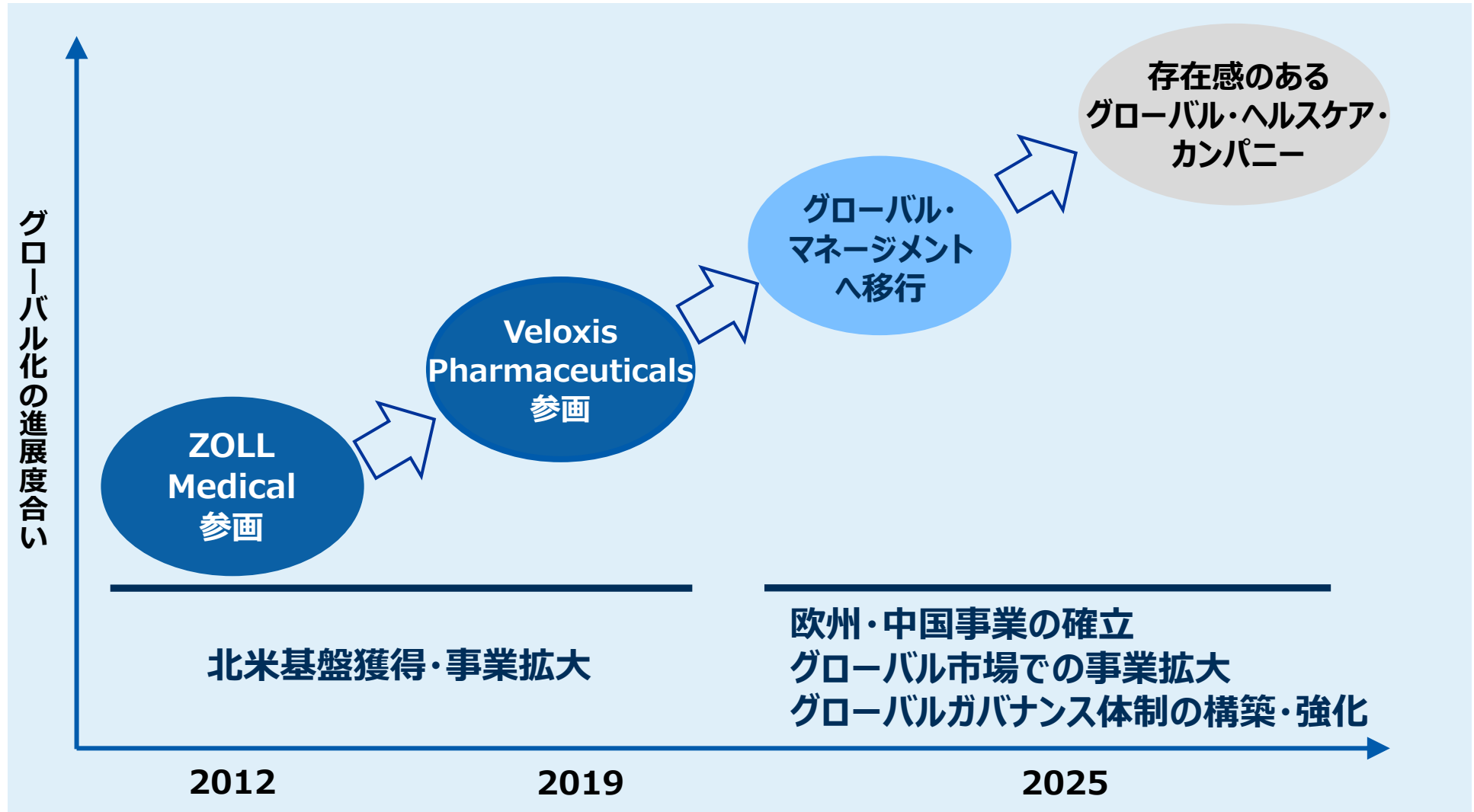
- 
- ▶ 近い将来にヘルスケア本社機能を米国移転することを想定し準備中
 - ✓ イノベーションが起きる現場、成長を続ける最大市場に身を置く
 - ▶ ヘルスケア領域の主たる事業開発リソースを米国へ集約
 - ✓ ヘルスケア領域各社の事業開発スタッフが持つコネクションを相互共有し最大限活用
 - ▶ M&Aに加えて少額投資、CVCを積極的に活用

目次

1. ヘルスケア領域の紹介
2. これまでの事業進捗
3. これからの成長
4. 事業戦略
- ▶▶▶ 5. まとめ

グローバル・ヘルスケア・カンパニーを目指して

▶ 多様な成長ドライバーを有した「グローバル・ヘルスケア・カンパニー」への進化を加速



ヘルスケア領域ミッション

Improve and save patients' lives



AsahiKASEI

昨日まで世界になかったものを。

私たち旭化成グループの使命。

それは、いつの時代でも世界の人びとが“いのち”を育み、

より豊かな“暮らし”を実現できるよう、最善を尽くすこと。

創業以来変わらぬ人類貢献への想いを胸に、

次の時代へ大胆に応えていくために一。

私たちは、“昨日まで世界になかったものを”創造し続けます。

